

様式第4号(第5条関係)

令和7年10月20日

菊池市議会議員

水上 隆光 様

(本藤潔 相続人)

令和7年度政務活動費収支報告書

菊池市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、次のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 120,000 円

2 支出

(単位 円)

項目	金額	備考
会議研修費	9,000	第20回全国市議会議員会研究フォーラム参加費
調査研究費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費	119,555	議会通信No.5
広聴費		
人件費		
事務所費		
要請・陳情活動費		
合計	128,555	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残額

0 円(支出が収入を上回る場合は0を記入)



第20回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌

令和7年8月8日

本藤 潔 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第20回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 丸子 善弘



金 9,000 円 (不課税・消費税対象外)

第20回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌の参加費として

令和7年8月27日・28日開催 (札幌市)



菊池市議会議員 本藤きよし

# 議会通信

2025年5月  
No.5



—未来へつなぐ 架け橋のために—

〒861-1684 熊本県菊池市豊岡 505-1  
TEL / FAX.0968-25-4225 mail:kikisaho128@icloud.com



議会映像  
QRコード

■例年にないほど桜の見どころが長く続いた今年は、その後菊池市長選挙が執り行われ、新緑の季節を迎える中で、各種団体の総会シーズンへと移り変わってまいりました。転職や人事異動、進学等で菊池市を離れその近況が届くものこの頃です。様々な声を聞いて、今後の地元の可能性と課題も含めて未来に向けた対話の必要性を感じます。

■その菊池市の市長選挙では現職市長が4期目の続投となり、引き続き本市の舵取りを担うこととなりました。これまでの経験と実績を活かし、今後も市民の安心と希望につながる市政運営が進められることを期待したいと思います。

一方で、長期政権だからこそ、議会としてのチェック機能がこれまで以上に重要となります。議員の一人として市民の声を真摯に受け止め、責任ある姿勢で市政を見つめ、必要な提言と是正を行っていきます。



見る、聞く、知る、語る ことからの政治。

# 3月議会 一般質問

令和7年第1回定例会

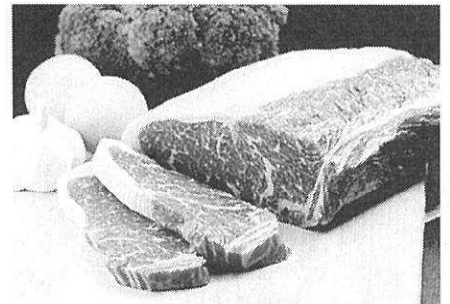
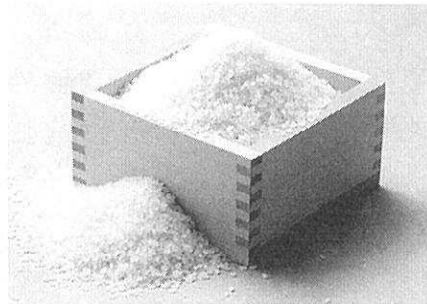
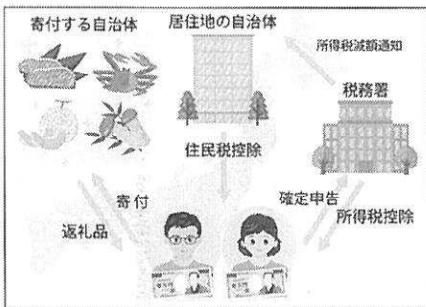
## ふるさと納税について

**答弁** 来年度、新たな代行業者に替わり  
話題性のある返礼品を開発し、6億円を目指す

**趣旨** 自然と食に恵まれた本市にはほかに誇れる農産物などが豊富にあることから  
ふるさと納税アップのための戦略を問う

本藤)直近のふるさと納税の直近の受入額と返礼品も含めた現状は。政策企画部長)寄付額は県内45自治体中26番目(14市中11番目)で4億3,542万円である。返礼品は約6,800品あり人気が高いのは米の定期便や本市乳牛の原材料を使用したカフェオーレやアイス、牛肉、豚肉等である。課題はニーズが高い小分けパックの対応ができる加工業者や日用品の加工製造業者が少ない事、また柱となる返礼品が不足していることがある。本藤)地元産業の活性化に資する返礼品の開発や新規事業者の参入促進の取組みが必要ではないか。戦略的取組みはあるか。政策企画部長)在庫不足の解消と併せて本市の強みである農産

物に加えて体験型返礼品やエミューの卵、アーティスト作品など話題性のある返礼品を増やしていくことで他の返礼品へ波及していく効果を目指す。新たな代行業者に替わる事で6億円を目指したい。本藤)寄付の用途についてどのような事業に活用され市民にどのような影響を与えているか。政策企画部長)寄付金は「教育と文化」や「子育てと健康福祉」など5つの分野から寄付者が選び、就学支援事業や学校ICT教育推進事業、地域子育て支援事業、防犯対策事業や交通コミュニティ対策事業など幅広い市民に利用できることに充当している。



## 移住定住促進策として保育園留学を導入する考えは

**答弁** 現在の子育て世帯移住支援事業を進めていく

**趣旨** 保育園留学を通して子育て世帯を誘致してはどうか

本藤)空き家バンク等を利用した取組みは。政策企画部長)登録件数11件で契約件数は6件。R5年度から始めた子育て世帯移住支援事業をスタートしている。空き家バンクに関しては需要と供給のバランスがとれてないと感じている。本藤)1~2週間ほど家族で地域に滞在することも主役の暮らし体験型プログラムでもある「保育園留学」についての検討は。政策企画部長)多くの自治体で取り組んではいるが実績ベースで費用対効果について十分な効果を得ていないことから現時点では困難である。本藤)民間団体等法人の公益事業として「保育園遊学」という独自の取組みもできると思うが、関係人口を増やす施策として推進してはどうか。

政策企画部長)今後研究していきたいが子育て世帯移住支援事業をスタートしたこともあり市内在住の方への支援策も考えているのでこちらを優先させていきたい。市長)目指すところは同じである。2年前から取り組んでいる子育て世帯移住支援事業で48世帯169名の方が移住されて今も多くの問い合わせがあり成果を出している。



# 「こども計画」策定で重視していることは

**答弁** 病児・病後児保育事業を拡充する

**趣旨** こどもまんなか社会の実現に向けて本市の「こども計画」の中身を問う

本藤) 少子化が進む中で「菊池市こども計画」の進捗状況と重視している点は何か。

健康福祉部長) パブリックコメントをまとめて最中である。重視している点は「こどもまんなか社会の実現」に向けて子ども、若者の権利の保障や当事者の意見を反映させることである。

本藤) 「こどもまんなか社会の実現」の理念を本市の計画にどのように反映させているのか。

健康福祉部長) 仕事と子育ての両立支援が重要であることから、当事者から要望が多い病児・病後児保育事業を拡充していく。

本藤) アンケートから若者のニーズにも「安心できる子育ての

環境が整っていること」とあるがどう反映させるのか。

健康福祉部長) 必要に応じて施設整備に応じていきたい。病児・病後児保育事業を重点的に進め、子育て支援事業も放課後事業クラブも含めて取組んでいきたい。

本藤) 子育て世帯が住みやすいまちづくりを「こども計画」にどう実施していくか。

A) 全庁的に子育て支援を進めていくが引き続き子育て世帯に選ばれるまちづくりに努めていく。



## 12月議会 一般質問 令和6年第4回定例会

### 菊池北小校区の住宅プランについて

**答弁** 計画的に進めていく

**趣旨** 菊池北小学校校区での住宅促進と子育て世帯誘致の施策を問う



本藤) 本市の老朽化した市営住宅の建替えや改修計画は。

建設部長) 住宅マスタープランや公営住宅等長寿命化計画の中で長期の計画を立てている。

本藤) 「用途廃止」となっている音町団地の今後の計画は。

建設部長) 住宅マスタープラン

や公営住宅等長寿命化計画にそって進めていく。社会情勢の変化や地域の現状や課題を踏まえ市が進めている定住政策と併せて進めていく。

本藤) 人口減少が続く小規模の学校区内の住宅促進は建設部長) 音町団地に関しても一部住民がいるので十分配慮して計画的に進めていく。今後は民間企業による住宅開発を誘導して学校に近いので子育て世帯に重点を置いた施策を進めていく。

### 市の農地利用について

**答弁** 地域計画を策定し有効に活用していきたい

**趣旨** 耕作放棄地の対策と環境保全型農業の推進をどう考えているのか

本藤) 農業従事者の減少により耕作放棄地が増加し特に中山間地の農地の荒廃が危惧されるが対策と成果は。

経済部長) 耕作放棄地の面積は今年113haで農地面積の1.6%である。農地パトロールを実施して所有者への相談を行い営農開発や新規参入者へのマッチングを進めている。中山間地域等直接支払事業と多面的機能支払事業で農地が適正に保全されるよう支援し農地が適正に保全されて耕作放棄地の発生防止をしている。

本藤) 「地域計画」を策定しているが耕作放棄地の活用や解消に向けての計画や展望は

経済部長) 地域農業の将来のあり方や農地の利用に関する目標

等を定める地域計画は年度内の作成に向けて進めている。この計画を有効に活用していきたい。農地を守る担い手の確保のため新規就農金の交付や機械導入の補助を継続して行う。

本藤) 環境保全型農業を積極的に誘導推進する考えはあるか。

経済部長) 菊池基準の策定、米コンクールでは菊池基準部門を設けるなど今まで推進してきた。

菊池市環境保全型農業推進協議会を本年6月に立ち上げて、地域全体で推進するため有機農業実施計画を策定し、オーガニックビレッジ宣言へ向けて準備を進めている。



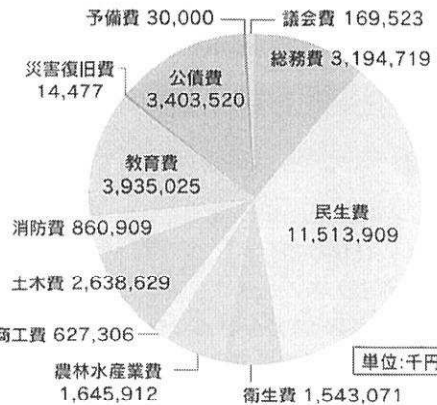
# 令和7年度 当初予算(骨格予算) 可決 本藤：賛成

一般会計 296億 400万円(前年度比3.1%増)  
 特別会計 133億4,002万円(前年度比0.3%減)  
 企業会計 45億8,235万円(前年度比3.7%増)

※千円以下の数字は切り捨てしています

## 目的別歳出予算割合

議会費 … 0.7%	衛生費 … 5.2%	土木費 … 8.9%	災害復興費 … 0.0%
総務費 … 10.8%	農林水産業費 … 5.6%	消防費 … 2.9%	公債費 … 11.5%
民生費 … 38.9%	商工費 … 2.1%	教育費 … 13.3%	予備費 … 0.1%



## 主な事業UP

### ふるさと納税促進事業

ふるさと納税制度を活用することで様々なまちづくり施策の財源を確保して魅力的な返礼品により寄付のリピーター及び菊池ファンの増加を目指す。交流人口・関係人口の増加、経済活性化に繋がればと思います。  
 600,292千円

### 電算管理費(総合型GIS更新業務)

固定資産、道路、下水道等の台帳管理とその情報を地図上に反映させるシステムの更新。公開型GISを導入し市民が来庁することなくインターネット上で地図情報が確認できるようにすることで市民サービスの向上が図られることを期待したい。  
 323,984千円

### 企業誘致等推進事業

市内に新たに工場等を建設する企業に対して助成措置を行うことで、経済の発展、産業振興、雇用機会の増大を図る。  
 258,540千円



### 道路橋りょう維持事業

市道等の老朽化により損壊した道路路面、道路施設の維持管理・整備をすることにより道路機能の保全を図るもの。相当の時間と経費がかかるものですが市民にとって安全で安心な交通環境の整備を計画的に進めることです。  
 812,027千円

### 学校ICT教育推進事業(小学校・中学校)

1人1台端末等のICT機器を活用した授業の実践により「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し令和2年度に導入したタブレットを更新するもの。児童の情報活用能力の育成と教職員の授業力向上につなげてほしいものです。  
 380,708千円

### 中学校長寿命化改良事業

南中学校の改修工事と七城中学校の耐力度調査委託を実施するもの。今後はライフラインの更新も含めて多くの施設が適切なタイミングで適切な予算計上が必要になります。  
 615,416千円

### 総合体育館施設整備事業

市総合体育館は築27年が経過し経年劣化や故障により施設利用に支障をきたしている状況で、改修工事を実施し利用者の利便性向上を図る。傷害スポーツの振興を図り大規模な大会等の誘致に繋がる事業。  
 332,363千円

## 議員定数削減案が否決

議員定数等を検討する議会改革検討特別委員会の審議を経て、第1回定例会最終日(3月18日)に議員定数を2減とする議員提出議案が審議され、賛成少数(賛成7、反対11)で否決となりました。私は、多様な市民の声を届ける役割りと行政チェックを行う議会機能の観点から反対討論を行いました。以下、私の議場での反対討論です。

議席番号1番、本藤潔です。  
 議員提出議案3号について、反対の立場から討論いたします。  
 今回、議会改革検討特別委員会の委員として議員定数について議論を重ねて参りました。その中で実施した市民アンケートでは、多くの市民が議員定数の削減を求めているという結果が示されました。こうした声を受け止め、議員定数の削減は避けて通れない課題であると認識しております。私個人としても、削減するのであれば「1名減」が妥当ではないかと考えています。

しかし、今回の議案で提案されている「複数名の削減」には賛同できません。その理由、大きく三つあります。  
 第1に、多様な民意の反映が難しくなるということです。議員定数を大幅に削減すれば、それぞれの地域の少数意見や課題が議会に十分に届かなくなる恐れがあります。地方議会の役割の一つは、多様な市民の声を拾い上げ、政策に反映させることです。そのためには、異なる立場や視点を持つ一定数の議員が必要不可欠です。  
 2点目に、新たな人材の参入が難しくなるということです。議員定数の削減によって、若者や女性、専門的な知識を持つ人材が政治の世界に参入しにくくなることを危惧しています。議会が多様な視点を持つことで、より幅広い市民ニーズに対応できるようになり、定数を削減しすぎることは、結果として議会の閉鎖性を高め、特定の層だけが議員を占める状況を生み出す可能性があります。  
 3点目に、議会の監視機能の低下です。議員一人あたり人口比や、定数減による財政全体に与える影響、常任委員会の適正人数などについて慎重に議論してきた中で、複数名の議員削減は、地方議会の持つ「住民の声を行政に反映させる役割り」や「行政を監視する機能」を弱体化させると考えています。  
 以上の理由から2名の議員を削減する提案には賛同できず、議員提出議案第3号には反対いたします。

## 編集後記

■超高齢化社会にあって介護施設関係者との意見交換で語られたことの一つに「介護職員確保は超厳しいです」と。医療、介護、保育という福祉ニーズが高まる一方で、人材確保という課題は外国人雇用者、AI導入等の経営努力はされてい

るものの解決までには程遠い。先日介護職員確保に関する行政視察先では豊かな財政基盤ゆえ自治体上げて様々な取組みをされていましたが、現場の声を聞きながら本市で出来得る支援策、解決策を提案していこうと思います。

**本藤 潔**  
 プロフィール  
 昭和41年1月28日生  
 【学歴】鹿児島国際大学社会学部卒  
 【職歴】参議院議員沢田一精事務所(3年間)  
 公立菊池養生園勤務(8年間)  
 社会福祉法人菊豊会理事長  
 【役職】熊本県保育協議会顧問  
 【家族】妻、娘、息子、母  
 【趣味】テニス、ゴルフ、読書、旅  
 【好きな言葉】人生我以外皆師  
 【学生時の夢】国連大使と農業  
 【尊敬する人】上杉鷹山、稲盛和夫  
 【今気になる事】お米の適正価格